

「21世紀型コミュニケーション力の育成」研修モジュール

C-1: パネルディスカッション

一般財団法人 コンピュータ教育推進センター

パネルディスカッションとは

異なる意見を持つ3人以上の人が、
聴衆の前で意見を発表し、
お互いに意見交換したあと、
聴衆が意見交換に加わる話し合い。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

パネルディスカッションとは、
異なる意見を持つ3人以上の人が聴衆の前で意見を発表し、
座談会形式でお互いに意見交換したあと、聴衆が意見交換に加わって話し合います。

パネルディスカッションは、小中学校の国語の授業でも取り上げられるようになり、
一般的な話し合いの手法で、子どもたちに身につけてほしい手法です。

ですので、先生方にも実際に体験してもらい、
パネルディスカッションによる話し合いを理解していただきます。

参加者の呼び方と役割

- パネリスト
代表の発表者(討論者)
- フロア
聴衆のこと。討論に参加できる。
- コーディネータ
進行や司会、まとめを行う。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

パネルディスカッションの参加者は、大きく3つに分けられ、その呼び方が異なります。

パネリストは、異なる意見を代表して発表する人のことです。

フロアは、会場でパネリストの意見を聞いて、その後の討論に参加します。

司会は、パネルディスカッション全体の進行やまとめを行います。

コーディネータという場合もあります。

パネルディスカッションでは、より多くの人の意見が反映されるよう、それぞれの役割を果たすように進めることが大切です。

子どもたちが進める場合には、役割の呼び方にこだわらず、コーディネータを司会としてもかまいません。

進め方

- | | |
|-------------------------|-------------|
| ①テーマ・進行の手順説明
パネリスト紹介 | [司会者] |
| ②発表（時間×時間） | [パネリスト] |
| ③意見交換 | [パネリスト] |
| ④フロアを交えての意見交換 | [フロア、パネリスト] |
| ⑤まとめ（パネリスト） | [パネリスト] |
| ⑥総括（司会） | [司会者] |

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

パネルディスカッションの進め方について説明します。

まずはじめに、司会者であるコーディネータが、テーマ・進行の手順を説明します。

そして、パネリストを紹介します。その際、パネリストに自己紹介させることもあります。

つぎに、パネリストから意見を発表してもらいます。

発表時間は、パネリスト一人あたりの時間を決めておきます。

そして、フロアを交えて意見交換を行います。その際、パネリストどうしで意見を交換したり、

お互いに質問しあったりします。

また、コーディネータからパネリストに質問する場合があります。

フロアから多く参加していただき、意見を交流させることが重要です。

司会者の役割

司会者は、全体を把握し、進行する大切な役割です。
参加者全体に目を配りながら、対応します。

パネリストの発表に対して

パネリストの発表が終われば、
その発表を簡単にまとめたり、価値づけたりします。

パネリストどうしのやり取りに対して

パネリストどうしで質問・回答するように
パネリストに働きかけるようにします。

司会者は、全体を把握し、進行する大切な役割です。

パネリストの発表に対して

パネリストの発表が終われば、
その発表を簡単にまとめたり、価値づけたりします。

パネリストどうしのやり取りに対して

パネリストどうしで質問・回答するように
パネリストに働きかけるようにします。

司会者の役割(2)

司会者は、全体を把握し、進行する大切な役割です。
参加者全体に目を配りながら、対応します。

★フロアからの発言について

話題をしぼって、フロアから発言をもらうようにします。
話題からそれた発言があれば、方向を修正します。

★司会者のまとめについて

むりやり結論づける必要はありません。
提案された内容や話題を整理して、
会全体(参加者全体)でまとめるようにします。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

司会者は、参加者全体に目を配りながら、対応します。

★フロアからの発言について

話題をしぼって、フロアから発言をもらうようにします。
話題からそれた発言があれば、方向を修正します。

★司会者のまとめについて

むりやり結論づける必要はありません。
提案された内容や話題を整理して、
会全体(参加者全体)でまとめるようにします。

パネリストの役割

テーマに関する自分の立場を明確にします。

必要な資料を収集・整理して、発表で活用します。

発表方法を工夫して、わかりやすく伝えます。

進んで質問したり、適切に回答したりします。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

パネリストの役割について説明します。

パネリストは、テーマに関する自分の立場を明確にします。

また、必要な資料を収集・整理して、発表に用います。

実物やプレゼンテーションを用いて、発表方法を工夫して、わかりやすく伝えます。

他のパネリストに進んで質問したり、

フロアや他のパネリストからの質問に対して適切に回答したりします。

フロアの役割

パネリストの発表を聞き、
共通点や相違点を考えます。

自分の立場を明らかにして、発言します。

考えを深めるために、進んで質問します。

建設的な意見を進んで発表します。

Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

フロアは、パネリストの発表を聞き、後で行う意見交換に積極的に参加します。

パネリストのそれぞれの発表を比べながら、発表内容の共通点や相違点を考えます。

意見交換の中では、フロアは、自分の立場を明らかにして発言します。

例えば、パネリストのどの意見と同じなのか、異なるのかを明らかにして発言するようにします。

また、パネリストの意見や他のフロアの発言についてお互いに考えを深めるために、進んで質問します。

建設的な意見を進んで発表します。

配置図



Copyright © 2013 Center for Educational Computing all rights reserved.

実際の配置図です。
あくまでも一例で、向きや順番は決まっています。

スライドを使って説明する場合は、中央にスクリーンを配置する場合があります。